

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300262
事業所名	グループホームはなえくぼ扶桑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	日常の挨拶から始めた地域交流も、今では回覧板が廻り、地域行事のお誘いが来るまでの交流になっている。地域の清掃活動に参加したり、資源ごみの当番が回ってきたり、地域の一員として役割を果たし、交流は良好な継続がある。また、ホームの防災非難訓練には地域の人や消防署の参加が得られ、避難経路の確認や地域の協力等を話し合っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回の会議開催があり、利用者家族、地域住民や行政関係者等、多数の参加がある。利用者の日常の様子や行事の様子等、写真を使って報告したり、ホームの困りごとの相談をしたりと、情報交換や協議の場として活用している。また、参加者からの介護制度や介護方法、ホームの運営についての質問にも答えている。内容は職員間で共有し、ホーム運営に反映している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議に町の担当者と地域包括支援センターの職員が参加し、ホームの実状を報告し理解を得ている。包括支援センターの研修に参加するとともに、町のGHの研修にも定期的に参加し、新しい情報収集と情報共有で、適切に連携できるように努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	年に1回家族会の開催があり、家族同士の意見交換を行い、ホームへの意向や提案を話し合っている。個別対応では、面会時に日常の様子を話したり、介護記録に目を通してもらったりと、具体的に情報を提供し、そこから出る家族の要望も聴取している。聴き取った意見は職員周知で迅速に対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。